

# 10 定例教育委員会 会議録

日	時	令和元年10月9日(水) 午前9時30分～午前9時50分
場	所	甲府市役所 9階 会議室9-2
出席委員	小林教育長・市川職務代理者・原委員・末木委員・岡田委員	
出席事務局職員	饗場教育部長・太田教育総室長・佐藤生涯学習室長(生涯学習課長兼任)・星野総務課長・寺田学校教育課長・内藤学事課長・穂山教育施設課長・西海甲府商業高等学校事務長・碓井甲府商科専門学校事務長・田中歴史文化財課長・小林スポーツ課長、本田図書館長・橘田総務課課長補佐・宮川総務課課長補佐・保坂総務課主任	
傍聴人	なし	
署名委員		
委員会書記		

・教育委員あいさつ

・会議録署名委員の指名 末木委員

・9月定例会会議録、9月臨時会会議録の承認 原案のとおり承認

小林
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">末木</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">市川</div>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">岡田</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">原</div>

## 1 開会

### 小林教育長

これより10月定例教育委員会を開会します。

### (1) 教育委員あいさつ

#### 末木委員

おはようございます。

先日の日曜日に甲府市総合市民会館で開催されました「こうふ開府500年記念事業 KOFU DREAM CAMPUS SPECIAL 甲府きょういくの日講演会」に参加し、宇宙飛行士土井隆雄さんの話をお聞きしました。会場では、多くの子供達が宇宙をめざせという講演を熱心に聞き入っていました。甲府の子供達に夢と希望を与える良い企画と内容だったと思います。私も講演を聴きながら心がワクワクし、感銘を受けたところであります。

さて、本日は「伝えること」と「伝わること」についてお話しをさせていただきます。

甲府市の北部にある千代田小学校は、非常に規模の小さい学校ですが、この学校には、「一分間スピーチの会」という昭和61年に始まり今年で34回目となる特色ある教育活動があります。

児童が演台に上り、児童、保護者、職員などを前に自分の思いや考えを発表し、発表後には聴いている児童や職員から質問や感想が出され、その場でやり取りが行われます。

児童の総合的なコミュニケーション能力を高めることが目的とお聞きしています。

私も何度か参加したのですが、児童が好きなこと、経験したこと、将来の夢などについて声の大きさや話す早さ、間の取り方や強弱に気を付け、聞き手の反応を見ながら気持ちを込めて話をしていました。感動しましたし、コミュニケーション能力を付ける良い取り組みだと思いました。

この一分間スピーチの会では、発表後に聞き手との意見交換がされるので、発表者の伝えたいことが聞き手に伝わったかが確認できます。

しかし、普段はこのように話し手が聞き手に伝えたいことが伝わったかまでなかなか意識しませんし、確認する機会もありません。

話し手は、まずは自分が伝えたいことを聞き手に何とか伝えようと、話にストーリー性を持たせたり、文章だと起承転結の構成など色々な工夫を凝らしたりします。

私の経験でも、自分の「伝えること」は何とか聞き手に伝わったと自分では思っている、後で意図したことが正しく伝わっていないと気が付いたことや、最悪な場合、言ったことがよく分からなかったとの感想をもらったこともありました。

改めて、「伝えること」と「伝わること」は違うことが思い知らされたことがあります。コミュニケーションの基本は相互関係であり、聞き手のことを考えて伝えないと伝わらないことだと実感しました。

伝わるためには、様々な価値観や文化的な背景を持つ人々が混在する多様性のある社会に配慮しなければならないとか、共通理解や前提条件を省略してしまうと伝わらないことになってしまうと言われます。

必要な情報を分かりやすい形で届けようとする「スローコミュニケーション」では、長い文章、難しい漢字、抽象的な言葉や専門用語は使わない。さらに省略はしないことなどが基本ルールとされています。

千代田小学校の一分間スピーチでは、児童が自分で考えたことを、自分の言葉で表現し、聞き手と意見交換して思いを共有していました。

「伝えること」と「伝わること」のモデルともなる良い取り組みだと思います。

本日は「伝えること」と「伝わること」は違うということをお話しさせていただいたのですが、今後もこのことを心に留めて実践に活かしていきたいと思っています。ご清聴ありがとうございました。

## **(2) 会議録署名委員の指名**

### **小林教育長**

会議録の署名委員は、末木委員を指名します。

## **(3) 前回会議録の承認**

### **小林教育長**

前回の議事録について、事前に配布されておりますが、何かご意見ありますでしょうか。よろしいでしょうか。

【原案どおり決定】

(教育委員会承認)

## 2 議事

### (1) 議題

#### 小林教育長

報告13号 甲府市議会9月定例会の審議状況について

報告14号 平成30年度決算審査特別委員会の審議状況について

資料に基づきまして、星野総務課長より説明をお願いします。

(星野総務課長より資料に沿って説明)

#### 小林教育長

説明が終わりました。これより質疑に入ります。ご意見、ご質問等ありませんか。

#### 末木委員

緑が丘スポーツ公園のリニューアルを含めて、スポーツ施設の整備についてお二方からの質問が出ていて、その中で「各競技団体の要望を集約する中で、基本方針を取り纏めた」と書いてありますが、具体的な整備計画というものはあるのですか。

#### 小林スポーツ課長

緑が丘のスポーツ公園につきましては、昨年度庁内の検討委員会がありまして、その中で特に有料運動施設をどのようにしていくかということの検討を行いました。今後、整備をどのようなスケジュールでやっていくかということについては、内容はスポーツ課で決めまして、スケジュールについては、今、まちづくり部で基本整備計画のようなものを作っている状況です。

#### 小林教育長

よろしいでしょうか。

#### 末木委員

はい。

#### 小林教育長

ほかにはないでしょうか。

#### 市川職務代理者

質問ではないので、お聞きいただければと思います。児童虐待の関係のことがこの中に載っていたわけですが、虐待に関しては学校で健康診断や体重測定などがあった時に疑いを見出すという場面が非常に多いのですが、そうすると学校としては、とりあえず保護者に話をするという対応をすることがあります。それで済めば非常に良いのですが、これが保護というレベルの話にな

りますと、どうしても学校の教職員と保護者が対立するという状態になることがありますので、そういった時にうまく教育委員会の方で間に入って緩和していくような対応を日頃から考えておいていただくと、学校としても直ぐ「こういうことがありました」ということで教育委員会に相談するということがしやすいと思いますので、そのあたりを是非、今後も油断なく続けていただければと思っています。

もう一点は、教員の働き方改革で市でも色々な立場の方を学校に配置をしていただいているのですが、心配になるのが代替職員の確保のことで、全国的な傾向で数字は忘れてしまいましたが何千人単位で不足しています。他県ではありますが、現に私の娘は今産休を取ってしまして、担任は教頭先生がしているという状況です。

免許更新の制度の第一号の方が来年には更新した免許の期限が切れます。今までは、例えば、退職した教職員の方にお問い合わせをして代替を手伝っていただくというのが可能だったのですが、今度は、免許の更新をしなかった年代の人たちの免許は失効しないのですが、教員として働くためには更新研修を受けなければいけないという仕組みになっています。そうするとそこまでして引き受けるかということが一つ気になります。その人たちは、一回免許の更新をして65歳くらいで期限が切れるはずですが、また、その人達より後に退職された方は、再任用として既に働いている方が非常に多いと思います。しかも教員の志願者の人数が減ってきている。そうすると非常に確保が難しいということが言えますので、今のうちからそのあたりの研究を進めておいて、是非、代替の人がいないという事態ができるだけ緩和されるような工夫をお願いできればと思います。以上です。

#### **小林教育長**

ほかにはないでしょうか。

#### **原委員**

定例会の審議についての内容ではないですけどよろしいでしょうか。

#### **小林教育長**

はい。

#### **原委員**

児童虐待についての質問がいくつかございましたけれども、昨今、耳を疑うような教員による教員のいじめという報道がございましたが、他県のことですとありますし、本市ではそのようなことはないと思いますが、今は教員の方々の多忙化や色々な保護者の問題ですとか、新任の教員は、色々な悩みや苦しみがきっとあると思います。もちろん、直属の上司である教頭先生や校長先生にご相談するというのが通常の流れだとは思いますが、教育委員会として何か教員への精神的な面でのフォローの体制がございましたら教えていただきたいと思います。

#### **寺田学校教育課長**

教員のメンタルヘルスの部分になるかと思いますが、原委員さんがおっしゃるように直接的には管理職に相談ということになります。また、それ以外に市の方では、教員OBの自立支援カウ

ンセラーというものが市の研修所に2名おまして、これは教員だけに限定せず、色んな一般的な相談を受けています。定例の校長会の中でも教員のメンタルヘルスや職場の悩み事などについても、自立支援カウンセラーに相談ができるというようなことをアナウンスしていますので、一つそこが機会になるかと思います。あとは、人事管理の関係で県の人事担当の管理主事と市の人事担当の教育主事が年に1回全ての教員と面接をしておりますので、そういうところで直接相談を受けることで状況を把握できると思っています。現状はその二つの仕組みの中でやらせていただいております。

**小林教育長**

よろしいでしょうか。

**原委員**

はい。

**小林教育長**

教員がやる気とかやりがいを持って仕事ができる環境を作るというのが大切だと思います。

私は今年度、初めて新採用の教員を集めて直接そういった面の話をさせてもらいましたが、なるべく教育委員会としても、教員がやりがいを持てる環境作りや教員の働き方改革などを積極的に取り組んでいきたいと考えております。

**星野総務課長**

今の話で、教員の方々にもストレスチェックを行っていきまして、そこでストレスの状態を診断していますので、その結果によって産業医に相談するという窓口もあります。

**原委員**

わかりました。

よろしく願いたします。

**小林教育長**

ほかにはないでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは確認いたしました。

【原案のとおり確認】

(教育委員会確認)

**3 その他**

**小林教育長**

その他、何かありますでしょうか。

よろしいでしょうか。

#### **4 閉会**

##### **小林教育長**

それではこれもちまして、10月定例教育委員会を閉会します。